

**共生・公正・創造**  
共生の精神のもとに、心  
とこころをつなぎ、次代  
につながる公正な社会を  
創ります。

# JR東日本労働組合 東京地本

JR東日本労働組合  
東京地方本部  
東京都千代田区鍛冶町2-11-11  
行者・郷 重雄 編集者・室岡 圭司  
L(NTT)03-3251-2191 (JR)057-2292  
X(NTT)03-3251-2192 (JR)057-2292



が当たり前の普通の作業になつていなか、と問われたのであります。今一度、日常作業を点検し危険の芽を摘んで行かなればなりません。安全安心の確立は、労使共通の課題です。労働組合だからこそつかめる現場の生の声を基に、経営協議会や団体交渉の場を通じ安全確立に向けた提言を行い、「究極の安全」を追求して行きます。

その大きな課題の一つは、安全確立の取り組みです。会社は、安全を経営のトッププライオリティと位置づけ、「究極の安全」を追求するとしています。残念ながら、昨年まで10月に業務中の組合員死亡事故が発生しました。このことは、危険なことで行きます。

量脱退が生まれ、社員過半数を擁する組合となるという状況になりました。労働組合の方が問われたのだとます。私たち東日本オムツ東京地本は、今月15日で結成5年を迎えます。この5年間で、大きな力を基に、ユニオン運動を堂々と行なう組合員と共に取り組んでまいりました。

関りに躊躇する思いを乗り越えた取り組みを教訓に、東京地本全体の取り組みへと繋げて行かなければなりません。先程にも述べましたが、JR東日本には社員の過半数を擁する労働組合はあります。決して労働組合の存在意義が無くなつた訳ではありません。これらの中のJR東日本の在り方を形作るため、矢継ぎ早に施策展開がされている今だからこそ労働組合の存在が必要なのだと想います。それは、労働組合のために組合員が居るのではなく、職場で働く者

が小さくなつて来てほしい  
ないかと危惧する声が聞  
かれる中、職場や作業実  
態、賃金などについて、  
意見交換し発信して行か  
なければなりません。

度の見直しなど、これからJ.R東日本の在り方を築き上げて行くために矢継ぎ早に施策展開をしています。一方、第2四半期決算において、增收減益とは言え着実に経営体質を強化しているにも拘らず、3年連続の3.18カ月と言う年末手当でありました。労働条件や労働環境に対する声

が居てそのために労合があるのだと思いま  
職場で働く組合員の、  
に立ち、組合員の負  
応える道は何かを見出  
その実現に向け職場  
く仲間の輪を更に大  
して行くために、そ  
頭に立ち取り組んで  
ます。

An illustration showing a close-up of a wooden beam joint. A vertical wooden post with a circular mortise is joined to a horizontal wooden beam with a corresponding tenon. A metal fastener, possibly a nail or a screw, is visible through a hole in the post, secured by a washer. The wood grain is clearly visible.

# 今後の活動予定

1月19日（土） 東京地本新春の集い  
　　ホテルラングウッド 11時から

2月9日（土） 第6回定期中央委員会  
　　ホテルラングウッド 12時から

2月24日（日） 共済推進会議  
　　東京地本事務所 11時から

同日14時 春闘総決起集会 滝野川会館

3月9日（土） 拡大分会代表者会議  
　　東京地本事務所 ※変更になりました

生部長  
宣監查計  
須貝欣一  
室岡圭一  
依田匡一  
鈴木英司  
久保田勉

新年あけまして  
おめでとうござい

## 執行委員長挨拶

本年もよろしくお願ひします  
執行部一同

願いします